

河川堤防耐震対策緊急検討委員会

設立趣旨

東北地方及び関東地方に甚大な被害をもたらした東日本大震災では、東北地方の北上川、鳴瀬川、阿武隈川の各水系、関東地方の利根川、那珂川、久慈川の各水系を中心に、河川堤防においても液状化現象により、大規模な沈下、すべり破壊、亀裂等の被害が広範囲に渡って発生した。これらの被災は、これまでの地震による河川堤防の被災と比較しても、大規模な被災が広範囲に渡っている。

本検討委員会は、今回の地震による河川堤防の被災実態を把握、分析するとともに、これまでの河川堤防の耐震に関する取り組みを検証し、それらを踏まえて今後の進め方について技術的な提言を行うことを目的とする。

検討委員会スケジュール（案）

4月19日 現地調査（関東）【済】

4月22日 現地調査（東北）【済】

5月11日 第1回検討会【今回】

- ・ 今回の地震動が河川堤防に与えた影響の分析、評価
- ・ 河川堤防の被災状況
- ・ これまでの河川堤防の耐震対策
- ・ 今回の地震による河川堤防の課題

6月中旬 第2回検討会

- ・ 今回の地震による河川堤防の課題と緊急に実施すべき事項（緊急提言）
- ・ 今後の河川堤防の耐震対策について

8月 第3回検討会

- ・ 今後の河川堤防の耐震対策について

9月 第4回検討会

- ・ 今後の河川堤防の耐震対策について（最終報告）